平成23年3月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年８月６日

上場会社名	株式会社クレックス		上場取引所　ＪＱ
コード番号	7568		ＵＲＬ　http://www.clex.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）有倉　康仁	
問合せ先責任者	（役職名）専務取締役	（氏名）小野　和一	（ＴＥＬ）　043-234-2242
四半期報告書提出予定日	平成22年８月13日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第１四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第１四半期	4,252	7.5	788	△9.0	769	△8.6	458	△5.7
22年３月期第１四半期	3,953	7.0	866	122.2	841	134.2	486	168.4

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年３月期第１四半期	32	32	－	
22年３月期第１四半期	34	26	－	

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
23年３月期第１四半期	17,059	6,527	38.3	459	92
22年３月期	17,013	6,220	36.6	438	28

（参考）自己資本　　23年３月期第１四半期　6,527百万円　22年３月期　6,220百万円

２．配当の状況

	年間配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年３月期	－		0	00	－		10	00	10	00
23年３月期	－									
23年３月期（予想）			0	00	－		10	00	10	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第２四半期（累計）	7,000	2.7	655	△33.3	598	△35.7	263	△43.6	18	53
通期	15,920	3.4	1,751	△7.5	1,638	△9.0	839	△5.4	59	11

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．２「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期１Ｑ	14,416,000株	22年３月期	14,416,000株
② 期末自己株式数	23年３月期１Ｑ	222,870株	22年３月期	222,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期１Ｑ	14,193,130株	22年３月期１Ｑ	14,193,580株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報　（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 2
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 2
（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要 …… 2
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書 …… 5
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部景気回復の兆しと共に企業業績は回復傾向にあるものの、雇用情勢・所得環境については改善にいたっておらず、加えて欧州諸国の財政危機に端を発する世界景気の先行き懸念が強まり、株安・円高傾向など依然として不透明で厳しい状況が続いております。特に個人消費は将来不安に起因する節約志向の高まりから依然として低迷しており、企業をとりまく環境は厳しい状況で推移してまいりました。

ＬＰガス業界におきましても、業界内の価格競争の激化、節約志向による販売量の減少など厳しい経営環境が続いております。

このような環境において、当社グループは、引続き新たなお客様の獲得に注力し、当第１四半期連結累計期間末のお客様件数は、前年同期末に比べ5.4%の増加となりました。

当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高におきましては、お客様件数の増加を主な要因として、4,252百万円となり、前年同期に比べ7.5%の増加となりました。

利益につきましては、前年同期に比べガス仕入価格が上昇したことにより売上総利益は1,498百万円となり、前年同期に比べ3.3%の減益となりました。この結果、営業利益は788百万円（前年同期比9.0%減）、経常利益は769百万円（前年同期比8.6%減）、四半期純利益は458百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は17,059百万円となり、前連結会計年度末と比較して45百万円の増加となりました。流動資産は2,957百万円と前連結会計年度末と比較して151百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が462百万円増加、受取手形及び売掛金が316百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は14,101百万円と前連結会計年度末と比較して105百万円の減少となりました。これは、機械装置及び運搬具等の有形固定資産が68百万円及びのれん等の無形固定資産が22百万円各々減少したことなどによるものです。

負債合計は、10,531百万円と前連結会計年度末と比較して261百万円減少しました。流動負債は6,119百万円となり、前連結会計年度末と比較して177百万円の増加となりました。これは、短期借入金が1,048百万円、賞与引当金が36百万円各々増加した一方、買掛金が611百万円、未払法人税等が149百万円及び未払金が41百万円各々減少したことなどによるものです。

固定負債は、4,412百万円となり前連結会計年度末と比較して438百万円の減少となりました。これは、長期借入金が216百万円、長期未払金が238百万円各々減少したことなどによるものです。

純資産の部は、6,527百万円となり、前連結会計年度末に比べて307百万円の増加となりました。これは、利益剰余金の増加316百万円などによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第１四半期の利益は第２四半期（累計）の利益予想を上廻っておりますが、季節的な要因から第２四半期が最も需要が落ち込むこと、更には、ガス仕入価格の上昇懸念、気候の温暖化等の諸要因があることから平成22年５月12日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

① 固定資産の減価償却費の算定方法

建物及び賃貸用建物以外の有形固定資産について減価償却の方法として定率法を採用しているため、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,186	724
受取手形及び売掛金	1,233	1,550
商品	287	292
貯蔵品	47	94
繰延税金資産	69	65
その他	172	113
貸倒引当金	△40	△35
流動資産合計	2,957	2,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	623	617
減価償却累計額	△437	△425
建物及び構築物（純額）	186	192
機械装置及び運搬具	19,523	19,259
減価償却累計額	△11,614	△11,283
機械装置及び運搬具（純額）	7,909	7,976
土地	337	337
賃貸用建物	2,643	2,645
減価償却累計額	△1,327	△1,305
賃貸用建物（純額）	1,316	1,340
賃貸用土地	2,416	2,386
建設仮勘定	304	305
その他	132	132
減価償却累計額	△121	△120
その他（純額）	10	11
有形固定資産合計	12,480	12,549
無形固定資産		
営業権	15	19
のれん	549	567
その他	22	23
無形固定資産合計	586	609
投資その他の資産		
投資有価証券	404	420
繰延税金資産	329	325
その他	418	420
貸倒引当金	△117	△117
投資その他の資産合計	1,034	1,047
固定資産合計	14,101	14,207
資産合計	17,059	17,013

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	912	1,524
短期借入金	2,054	1,006
1年内返済予定の長期借入金	1,142	1,214
未払法人税等	338	487
賞与引当金	100	63
未払金	1,441	1,483
その他	129	162
流動負債合計	6,119	5,941
固定負債		
長期借入金	1,332	1,548
長期未払金	1,945	2,183
退職給付引当金	33	31
役員退職慰労引当金	177	193
繰延税金負債	6	6
その他	917	888
固定負債合計	4,412	4,850
負債合計	10,531	10,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	582	582
資本剰余金	411	411
利益剰余金	5,696	5,380
自己株式	△168	△168
株主資本合計	6,522	6,205
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5	14
評価・換算差額等合計	5	14
純資産合計	6,527	6,220
負債純資産合計	17,059	17,013

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	3,953	4,252
売上原価	2,404	2,753
売上総利益	1,549	1,498
販売費及び一般管理費	682	710
営業利益	866	788
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
雑収入	11	9
営業外収益合計	15	14
営業外費用		
支払利息	41	34
営業外費用合計	41	34
経常利益	841	769
特別利益		
固定資産売却益	15	25
特別利益合計	15	25
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	854	792
法人税等		
法人税、住民税及び事業税	360	334
法人税等調整額	7	△0
法人税等合計	368	333
少数株主損益調整前四半期純利益	－	458
四半期純利益	486	458

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	854	792
減価償却費	422	415
のれん償却額	17	18
賞与引当金の増減額（△は減少）	36	36
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	41	34
有形固定資産売却損益（△は益）	△15	△25
有形固定資産除却損	2	2
売上債権の増減額（△は増加）	356	316
たな卸資産の増減額（△は増加）	184	51
仕入債務の増減額（△は減少）	△717	△508
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△27	△57
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△18	△2
その他の固定負債の増減額（△は減少）	28	29
その他	5	△6
小計	1,165	1,092
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△42	△35
法人税等の支払額	△507	△476
営業活動によるキャッシュ・フロー	619	585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△42	－
有形固定資産の取得による支出	△353	△501
有形固定資産の売却による収入	23	55
投資有価証券の取得による支出	△7	△0
その他	△0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△381	△442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	608	1,048
長期借入れによる収入	－	50
長期借入金の返済による支出	△410	△338
配当金の支払額	△170	△142
割賦資産長期未払金支払額	△590	△364
割賦資産長期未払金増加額	606	69
その他	△0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	42	322
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	280	465
現金及び現金同等物の期首残高	906	710
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,186	1,176

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。